

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和元年七月度 入選句 (投稿総数二千五百三十七句・小中学投句数千七百五十三句)

特選

あせをかきめがねもくもくももってる 大垣市 相馬 幸穂(小四)

梅雨があけるとぐんぐん暑くなってきました。少し運動しただけで汗をいっぱいかきます。めがねをかけている人にとっては夏の汗は大敵ですね。空にはギラギラとteriつける太陽、白い雲がむくむくと広がっています。いっぱい汗をかいて、めがねがもくもくももって困っている様子がよく伝わってきます。

空缶のころがる坂の暑さかな 加茂郡川辺町肥田 春渡(中二)

何かちよつとつまらない事でもあつて空缶をけとばしたのかな。ちよつとのつもりが思いの他長くコロコロと缶が転がついていったようですね。暑さを詠んでいる句ですが坂を転がついていく缶の音が強く耳に残ります。

みずたまりのぞきこんだら夏の空 大垣市 多田 伊織(小六)

じめじめとした長い梅雨も終わつてようやく本格的な夏がやってきました。雨が止んだとたんにせみが鳴き出し、クーラーやせんぷうきも大活躍です。外に出るとまだ水たまりが残っています。のぞきこむと夏の青い空が映っています。よく小さな水たまりに足を止めましたね。青い大空の大発見でしたね。

秀逸

夏の川太陽のかけらちりばめて 大垣市 近藤 瑠璃(小六)

力づよいたきの力にまけぬ鯉 大垣市 後藤 怜音(小六)

梅雨の日にジャンプでよけた水たまり 大垣市 三輪 さくら(小六)

せみのこえどんどんつづくでんごんだ 大垣市 新井 愛依(小三)

六時半ラジオたいそうかいきんしょう 大垣市 相馬 幸穂(小四)

星のようホタルかがやくくいせ川 大垣市 山田 萌(小四)

夕立がぼくたちの声を消していく 大垣市 近藤 秀介(小六)

青葉風せんどうさんのハッピーまう 大垣市 森内 悠央(小六)

炎天下せせらぎの音でひと休み 大垣市 岡田 真依(小六)

たきのぼりよりあつまつてりゆうとなる 大垣市 野村 煌希(小六)

入選

雲の下やなぎがしずくと光ってる 大垣市 安倉 優月(小五)

夏木立緑の中に水の音 大垣市 高橋 亜衣(小六)

万緑の下で飛び立つはとの音 大垣市 桐山 双汰(小六)

セミが鳴き君も泣いたら笑わせよ 加茂郡川辺町 木下 彩音(中二)

夏のたき話はずむたきははずむ 大垣市 川添 有海(小六)

夏の川赤い橋こえいせへいく 大垣市 川瀬 みさき(小六)

川をけり梅雨をけとばし親子カモ 大垣市 前田 琉鳳(小六)

はしのうえてつきんひびくなつのかぜ 大垣市 箕浦 拓也(小六)

つゆの日に静かにすわるカラーコーン 大垣市 浜中 大介(小六)

すいれんは大きな口で水を待つ 大垣市 上田 旺佳(小六)

入選

ほたるさんかくれんぼするくいせがわ 大垣市 伊藤 晟 冴(小二)

すいそうのきんぎよがしんだとつぜんに 大垣市 加藤 綾 人(小二)

つばめのおしくらまんじゅうすがせまい 大垣市 杉野 実 咲(小二)

田うえしてみなもにうつるなえのかげ 大垣市 山田 萌(小四)

やもりくんよるのかげでねうごきだす 大垣市 大嶋 蒼 乃(小三)

友達の髪の間にあせひかる 大垣市 清水 きなり(小四)

あじさいの中からへビのぬけがらが 大垣市 山田 隆之佑(小四)

お父さんコップひやしてビールのむ 大垣市 わたなべ 一成(小四)

きもだめしこわくてふるえあせが引く 大垣市 高木 ひより(小四)

夏の目を吸いこむはだはまだ白い 大垣市 森 麻 亜 子(小六)

選者吟

半ズボン脛白々と都会の子

よちゑ